



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月7日

上場会社名 株式会社 福井銀行
コード番号 8362 URL <https://www.fukuibank.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表執行役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理グループマネージャー
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 0776-24-2030
特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,760	13.1	1,316	28.5	847	24.6
2023年3月期第1四半期	13,541	32.3	1,843	122.4	1,124	215.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 7,142百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 7,274百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	36.78	
2023年3月期第1四半期	48.02	

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式がないので記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	4,057,020	135,303	3.1
2023年3月期	4,001,760	128,710	3.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 129,551百万円 2023年3月期 123,120百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		25.00		25.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		25.00		25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	49.0	900	54.3	39.05
通期	2,700	242.4	1,500	16.8	65.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P7.「2.(5)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	24,144,669 株	2023年3月期	24,144,669 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,076,287 株	2023年3月期	1,100,133 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	23,044,794 株	2023年3月期1Q	23,415,649 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。(詳細は、[添付資料]P2.「1(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
3. 補足情報	8
(1) 2024年3月期第1四半期 損益の状況	8
(2) 金融再生法開示債権	11
(3) 時価のある有価証券の評価差額	12
(4) 自己資本比率（国内基準）	12
(5) 貸出金、預金等、預り資産の状況	13
① 貸出金の状況（末残）	
中小企業等貸出金残高・比率、消費者ローン残高	13
② 預金等（含む譲渡性預金）の状況（末残）	
預金残高・譲渡性預金残高、個人・法人別預金等残高	14
③ 預り資産の状況（末残）	
公共債（国債等）、投資信託、個人年金保険	15

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 「3. 補足情報」において【二行合算】とあるものは、当行単体と福邦銀行単体を単純に合算したものであり、当行連結と合致するものではありません。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、経常収益は、グループ全体でお客様の本業支援や資金繰り支援に継続して注力したことにより貸出金利息が増加したものの、前年度計上した投資信託解約益の反動及び投資信託における配当金減少の影響による有価証券利息配当金の減少を主因に、前年同期比17億80百万円減少し117億60百万円となりました。また、経常費用は、前年度に金利上昇を見込んだ外国債券売却による国債等債券売却損の反動減を主因に、前年同期比12億54百万円減少し104億43百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比5億26百万円減少し13億16百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2億76百万円減少し8億47百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の連結財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末比552億円増加し4兆570億円、純資産は前連結会計年度末比65億円増加し1,353億円となりました。

主要勘定につきましては、貸出金は、お客様の本業支援や資金繰り支援に継続して注力したことにより、前連結会計年度末比438億円増加し2兆2,583億円となりました。譲渡性預金を含めた預金等は、地域の幅広いお客さまからの預入れにより、前連結会計年度末比524億円増加し3兆4,224億円となりました。また、有価証券は、安全性・流動性を重視しつつ運用収益回復に努めていることから、前連結会計年度末比821億円増加し6,526億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日公表の予想数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
現金預け金	1,108,538	1,038,718
商品有価証券	370	325
金銭の信託	6,802	6,815
有価証券	570,478	652,660
貸出金	2,214,487	2,258,342
外国為替	8,858	9,908
その他資産	62,682	63,176
有形固定資産	31,167	30,958
無形固定資産	1,199	1,219
繰延税金資産	6,338	3,591
支払承諾見返	9,254	9,864
貸倒引当金	△18,417	△18,560
資産の部合計	4,001,760	4,057,020
負債の部		
預金	3,290,566	3,354,887
譲渡性預金	79,489	67,592
債券貸借取引受入担保金	6,526	1,261
借入金	448,318	448,722
外国為替	109	18
その他負債	29,111	29,933
賞与引当金	436	125
役員賞与引当金	5	2
退職給付に係る負債	5,868	5,892
役員退職慰労引当金	39	22
役員株式給付引当金	198	213
睡眠預金払戻損失引当金	218	199
偶発損失引当金	227	249
ポイント引当金	68	76
固定資産解体費用引当金	23	23
株式譲渡損失引当金	61	-
繰延税金負債	137	248
再評価に係る繰延税金負債	2,388	2,384
支払承諾	9,254	9,864
負債の部合計	3,873,050	3,921,717

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
資本金	17,965	17,965
資本剰余金	6,299	6,299
利益剰余金	93,051	93,319
自己株式	△1,793	△1,752
株主資本合計	115,522	115,831
その他有価証券評価差額金	2,257	8,385
土地再評価差額金	5,423	5,413
退職給付に係る調整累計額	△83	△78
その他の包括利益累計額合計	7,597	13,719
非支配株主持分	5,590	5,751
純資産の部合計	128,710	135,303
負債及び純資産の部合計	4,001,760	4,057,020

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
経常収益	13,541	11,760
資金運用収益	8,755	7,223
(うち貸出金利息)	5,067	5,483
(うち有価証券利息配当金)	3,285	1,418
役務取引等収益	2,133	2,276
その他業務収益	2,388	1,874
その他経常収益	263	384
経常費用	11,698	10,443
資金調達費用	152	251
(うち預金利息)	63	165
役務取引等費用	574	726
その他業務費用	3,378	2,053
営業経費	6,749	7,043
その他経常費用	842	367
経常利益	1,843	1,316
特別利益	0	42
固定資産処分益	0	42
特別損失	10	57
固定資産処分損	7	27
減損損失	2	30
税金等調整前四半期純利益	1,833	1,301
法人税、住民税及び事業税	440	173
法人税等調整額	299	182
法人税等合計	739	355
四半期純利益	1,094	946
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,124	847

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,094	946
その他の包括利益	△8,369	6,196
その他有価証券評価差額金	△8,392	6,192
繰延ヘッジ損益	17	-
退職給付に係る調整額	5	4
四半期包括利益	△7,274	7,142
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,973	6,980
非支配株主に係る四半期包括利益	△301	161

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

一部の連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

3. 補足情報

(1) 2024年3月期第1四半期 損益の状況

【連結】

○連結粗利益は、グループ全体でお客さまの本業支援や資金繰り支援に継続して注力したことにより貸出金利息が増加したものの、前年度計上した投資信託解約益の反動及び投資信託における配当金減少の影響による有価証券利息配当金の減少を主因に、前年同期比8億28百万円減少し83億43百万円となりました。

○経常利益は、連結粗利益の減少を主因に、前年同期比5億26百万円減少し13億16百万円となりました。

○親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比2億76百万円減少し8億47百万円となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (3か月間) (A)	2024年3月期 第1四半期 (3か月間) (B)	前年同期比 (B) - (A)	2024年3月期 第2四半期 累計期間業績予想 (6か月間)
連結粗利益 (注)	9,172	8,343	△ 828	
資金利益	8,602	6,972	△ 1,630	
役員取引等利益	1,559	1,550	△ 8	
その他業務利益	△ 989	△ 178	810	
経費	6,749	7,043	293	
人件費	3,523	3,539	16	
物件費	2,822	3,049	226	
税金	403	455	51	
貸倒償却引当費用	479	356	△ 123	
貸出金償却	262	88	△ 173	
個別貸倒引当金繰入額	301	146	△ 154	
偶発損失引当金繰入額等	100	91	△ 8	
一般貸倒引当金繰入額	△ 184	29	214	
償却債権取立益	35	29	△ 5	
株式等関係損益	△ 182	234	416	
その他	47	109	62	
経常利益	1,843	1,316	△ 526	1,500
特別損益	△ 9	△ 15	△ 5	
税金等調整前四半期純利益	1,833	1,301	△ 531	
法人税、住民税及び事業税	440	173	△ 266	
法人税等調整額	299	182	△ 116	
法人税等合計	739	355	△ 383	
四半期純利益	1,094	946	△ 148	
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△は非支配株主に帰属する四半期純損失)	△ 29	98	128	
親会社株主に帰属する四半期(中間)純利益	1,124	847	△ 276	900

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用 + 金銭の信託運用見合費用)

+ (役員取引等収益 - 役員取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

【福井銀行単体】

【主なトピック】お客さまの本業支援や資金繰り支援に継続して注力したことにより、貸出金残高及び貸出金利回りが順調に推移し、貸出金利息は増加しました。有価証券利息配当金は、前年度計上した投資信託解約益の反動及び投資信託における配当金減少の影響により、計画の範囲内で減少しました。

○コア業務純益は、前年同期比24億42百万円減少して11億86百万円となりました。

○経常利益は、債券関係損益及び株式関係損益の改善があったものの、前述のコア業務純益の減少により、前年同期比7億26百万円減少して11億89百万円となりました。

○四半期純利益は、前年同期比4億12百万円減少して8億82百万円となりました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (3か月間) (A)	2024年3月期 第1四半期 (3か月間) (B)	前年同期比 (B) - (A)	2024年3月期 第2四半期 累計期間業績予想 (6か月間)
経常収益	9,952	7,980	△ 1,972	
業務粗利益	7,450	6,467	△ 983	
資金利益	7,555	5,880	△ 1,675	
役務取引等利益	923	826	△ 97	
その他業務利益 (うち債券関係損益)	△ 1,028 △ 1,218	△ 239 -	789 1,218	
経費(除く臨時処理分)	5,040	5,280	240	
人件費	2,658	2,640	△ 17	
物件費	2,071	2,277	205	
税金	310	363	52	
実質業務純益	2,410	1,186	△ 1,223	
コア業務純益(注)	3,628	1,186	△ 2,442	1,300
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	2,226	1,186	△ 1,039	
①一般貸倒引当金繰入額	△ 144	131	275	
業務純益	2,554	1,055	△ 1,498	
臨時損益	△ 638	134	772	
②うち不良債権処理額	529	183	△ 345	
(貸倒償却引当費用①+②)	385	314	△ 70	
③うち償却債権取立益	28	25	△ 3	
うち株式関係損益	△ 182	234	416	
経常利益	1,916	1,189	△ 726	900
特別損益	△ 9	△ 57	△ 47	
税引前四半期純利益	1,906	1,132	△ 774	
法人税等合計	611	249	△ 361	
四半期(中間)純利益	1,295	882	△ 412	400

与信関係費用①+②-③	356	289	△ 67
-------------	-----	-----	------

(注) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券関係損益

【福邦銀行単体】

○ コア業務純益は、中小企業・個人事業主の資金ニーズに積極的に対応したことによる貸出金利息の増加等により資金利益が増加したことに加え、Fプロジェクトにおける本部機能統合による経費の削減も進んだことから、前年同期比56百万円増加し、73百万円となりました。
 ○ 経常損益は、コア業務純益の増加に加え、与信関係費用が減少した影響から、前年同期比1億91百万円増加し、1億85百万円と黒字化いたしました。
 ○ 四半期純損益は、経常利益の増加により、前年同期比2億12百万円増加し、1億53百万円と黒字化いたしました。

(単位：百万円)

	2023年3月期 第1四半期 (3か月間) (A)	2024年3月期 第1四半期 (3か月間) (B)	前年同期比 (B) - (A)
経常収益	1,570	1,651	81
業務粗利益	1,275	1,306	31
資金利益	1,228	1,247	18
役務取引等利益	44	50	6
その他業務利益 (うち債券関係損益)	1 -	8 8	6 8
経費(除く臨時処理分)	1,258	1,225	△ 32
人件費	593	580	△ 12
物件費	585	567	△ 17
税金	79	77	△ 1
実質業務純益	17	81	64
コア業務純益(注)	17	73	56
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	17	73	56
① 一般貸倒引当金繰入額	△ 24	-	24
業務純益	41	81	39
臨時損益	△ 47	104	152
② うち不良債権処理額	65	8	△ 57
(貸倒償却引当費用① + ②)	40	8	△ 32
③ うち貸倒引当金戻入益	-	52	52
④ うち償却債権取立益	6	4	△ 2
うち株式関係損益	0	-	△ 0
経常利益 (△は経常損失)	△ 5	185	191
特別損益	1	4	3
税引前四半期純利益 (△は税引前四半期純損失)	△ 4	190	194
法人税等合計	53	36	△ 17
四半期純利益 (△は四半期純損失)	△ 58	153	212
与信関係費用① + ② - ③ - ④	33	△ 48	△ 82

(注) コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 債券関係損益

(2) 金融再生法開示債権

○ 金融再生法開示債権は、二行合算で2023年3月末からほぼ横ばいで351億円となりました。
また、総与信に占める割合は、2023年3月末比0.06ポイント改善して1.50%となりました。

【二行合算】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	48	52	3
危険債権	272	266	△6
要管理債権	29	32	3
合計	350	351	0

総与信に占める割合	1.56%	1.50%	△0.06%
-----------	-------	-------	--------

【福井銀行単体】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33	36	2
危険債権	186	182	△3
要管理債権	3	10	6
合計	224	229	4

総与信に占める割合	1.18%	1.17%	△0.01%
-----------	-------	-------	--------

【福邦銀行単体】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15	16	1
危険債権	86	83	△2
要管理債権	25	22	△2
合計	126	122	△4

総与信に占める割合	3.60%	3.15%	△0.45%
-----------	-------	-------	--------

(3) 時価のある有価証券の評価差額

○ 時価のある有価証券の評価差額は、連結で2023年3月末比88億円増加して117億円の含み益となりました。

【連結】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
有価証券計	28	117	88
株式	161	206	45
債券	△ 33	△ 22	10
その他	△ 99	△ 67	32

【福井銀行単体】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
有価証券計	27	113	86
株式	160	203	42
債券	△ 33	△ 22	10
その他	△ 99	△ 67	32

【福邦銀行単体】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
有価証券計	6	8	2
株式	6	8	2
債券	0	0	△ 0
その他	0	0	△ 0

(4) 自己資本比率（国内基準）

○ 2023年6月末の自己資本比率（国内基準）については現在算出中であり、確定次第、別途開示する予定であります。

(5) 貸出金、預金等、預り資産の状況

- 貸出金は、事業性貸出金が増加したことから、二行合算で2023年3月末比839億円増加し、2兆3,105億円となりました。
- 預金と譲渡性預金の合計額は、個人預金及び法人預金が増加したことから、二行合算で2023年3月末比535億円増加し、3兆4,336億円となりました。
- 預り資産につきましては、投資信託は二行合算で2023年3月末比46億円増加して771億円となり、また、個人年金保険は二行合算で2023年3月末比18億円増加して941億円となりました。

① 貸出金の状況 (末残)

【二行合算】

(単位：億円)

		2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)-(A)
貸出金		22,265	23,105	839
	中小企業等貸出金残高	15,284	15,303	18
	(中小企業等貸出金比率)	68.64%	66.23%	△ 2.41%
	うち消費者ローン残高	6,981	6,977	△ 3
	住宅ローン残高	6,566	6,559	△ 7
	その他ローン残高	414	417	3

【福井銀行単体】

(単位：億円)

		2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)-(A)
貸出金		18,773	19,240	467
	中小企業等貸出金残高	12,517	12,571	53
	(中小企業等貸出金比率)	66.67%	65.33%	△ 1.34%
	うち消費者ローン残高	6,100	6,093	△ 7
	住宅ローン残高	5,818	5,809	△ 8
	その他ローン残高	281	283	1

【福邦銀行単体】

(単位：億円)

		2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)-(A)
貸出金		3,492	3,864	371
	中小企業等貸出金残高	2,766	2,732	△ 34
	(中小企業等貸出金比率)	79.22%	70.70%	△ 8.52%
	うち消費者ローン残高	880	884	3
	住宅ローン残高	748	750	1
	その他ローン残高	132	134	1

②預金等（含む譲渡性預金）の状況（末残）

【二行合算】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
預金	32,951	33,605	654
譲渡性預金	849	730	△ 118
預金等合計	33,801	34,336	535
個人	22,087	22,308	220
法人	11,713	12,027	314

【福井銀行単体】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
預金	28,623	29,286	662
譲渡性預金	849	730	△ 118
預金等合計	29,473	30,017	544
個人	18,741	18,982	240
法人	10,731	11,035	303

【福邦銀行単体】

(単位：億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)－(A)
預金	4,327	4,318	△ 8
譲渡性預金	-	-	-
預金等合計	4,327	4,318	△ 8
個人	3,346	3,326	△ 19
法人	981	992	10

③預り資産の状況(末残)

【二行合算】

(単位:億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)-(A)
公共債(国債等)	309	309	0
投資信託	725	771	46
個人年金保険	922	941	18

【福井銀行単体】

(単位:億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)-(A)
公共債(国債等)	246	240	△5
投資信託	597	632	35
個人年金保険	883	906	22

【福邦銀行単体】

(単位:億円)

	2023年3月末 (A)	2023年6月末 (B)	増減 (B)-(A)
公共債(国債等)	63	69	5
投資信託	128	138	10
個人年金保険	38	34	△4